

# 北極星

校訓 『役に立つ子どもになる』

## 「言葉遣い」を磨く

校長 飯田輝雄

また教育現場で残念な事件が起きました。罵詈雑言で教師を挑発し、暴力をけしかけ、**教師の暴力行為を友達に録画させ、ネット炎上を狙う**という卑劣極まりない行為。体罰教師は処分されることを知った上での生徒の言動です。このように人を陥れるのが楽しくて仕方ない歪んだ人間がいます。道徳指導や学級指導で、自分のとった言動が未来にどのような影響を与えるのか、やられた方の気持ちを想像する力を養い育てる必要があると強く感じる事件でした。それにしても写真や動画撮影が便利になりすぎて、間違えた使い方をする人が多過ぎると思います。未熟で社会常識のない子どもは、なおさら使ってはダメです。

さて、始業式で「やる気がなくなる言葉」と「やる気が出る言葉」の話をしました。 「やる気がなくなる言葉」の例として、

「早くやりなさい!」「何度言ったらわかるの!」「まだできないの!」「へたくそ!」「何無駄なことをやっているの!」「後で聞くから!」「今忙しいの!」など。

「やる気が出る言葉」の例として、

「えらいね」「よくできたね」「がんばったね」「すごいね」「一緒にやってみよう」「自分の考えでやってごらん」「説明が上手だね」など。

スラムダンク



もともと小学生は「やる気」満々です。あらゆる知識・技能を吸収したいと思っているからです。

親子関係だけではなく、友達関係でも「やる気」のオン・オフの言葉は同じです。子どもは、**やる気がなくなる言葉を悪口**ととらえます。当然悪口を言う人は嫌いな人になります。嫌いな人の言うことは仕方なく聞きます。それは**子どもの主体性ゼロの行為**です。

**やる気が出る言葉は、ほめて、認めて、励ます言葉**です。子どもは**自主的に考え行動する**ようになります。どちらがいいかは一目瞭然です。

何度も書いていますが、私は先生方に「子どもをほめて、認めて、励ましてください」とお願いしています。そうすると言葉遣いが自然に淘汰されて、落ち着きと安心感のある学校になります。甘やかし機嫌をとる言葉ではありません。

「言葉遣い」を磨くとは、**相手を思いやる言葉で話す**、ということです。ヤンキードラマの影響を受けて、くだらない真似をする浅はかな言動は慎むべきですね。

## ご報告

この度、6年担任、佐藤 博康 教諭が「平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰」で、優秀教職員に選出されました。児童の学力向上に貢献し、研修を通して授業改善に取り組み、教職員の資質能力の向上に尽力したことが表彰事由です。北海道から20名が選ばれ、1月15日、東京大学安田講堂で行われた表彰式に参加しました。日頃の真面目な努力が評価につながり、大変名誉な賞をいただきました。この喜びを皆様にご報告申し上げます。

## 平成31年2月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	金	スケート学習(全)	15	金	
2	土	週休日 標津カップ	16	土	週休日 標津冬まつり
3	日	週休日	17	日	週休日
4	月	スケート学習(全) 生活リズムチェック週間	18	月	職員会議
5	火	全校朝会 ALT スケート記録会	19	火	きらりタイム ALT
6	水	一貫教育研 よむよむ☆ママさん隊 巡回指導	20	水	児童会役員選挙 よむよむ☆ママさん隊
7	木	スケート予備日 PTA 役員会 フッ化物洗口	21	木	フッ化物洗口
8	金		22	金	
9	土	週休日 標津スプリント大会	23	土	週休日 管内P役員会 11:00 標津小
10	日	週休日	24	日	週休日
11	月	建国記念の日	25	月	
12	火	全校朝会 ALT 委員会	26	火	全校朝会 ALT
13	水	研修日	27	水	参観日・全体懇談会 よむよむ☆ママさん隊
14	木	園児体験入学 フッ化物洗口	28	木	PTA 理事会・選考委員会 フッ化物洗口
生活目標 <small>せいかつもくひょう</small> 気持ちのよいあいさつと 優しい言葉づかいを心がけよう			保健目標 <small>ほけんもくひょう</small> 冬を健康的に過ごそう		

### 流行性感冒(インフルエンザ) 予防

1月9日(水)、中標津保健所管内にインフルエンザ警報が発令されました。今後、流行がさらに拡大する可能性があります。本校ではまだそれほど流行していませんが、いつ、どこで罹患するかわかりません。気管支炎や肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんや脳症などを併発して、重症化することもあります。

感染予防には、流行時に人混みを避ける。マスクを着用する。外出後にはうがいや手洗いをするのが大事ですので、お子さんへの声かけをお願いします。

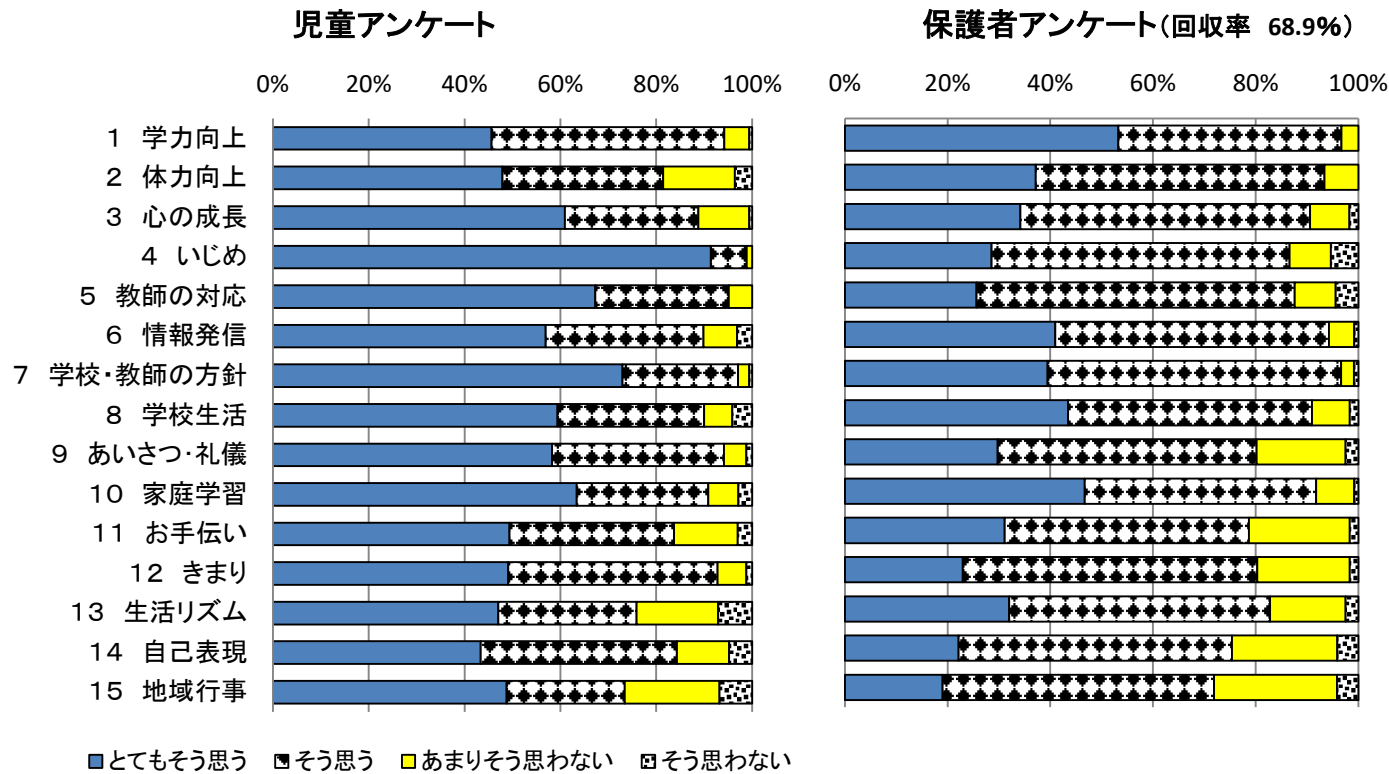
## ★★★学校評価の結果について★★★

1 2月に実施した「学校教育活動アンケート」へのご協力、ありがとうございました。

本校の学校評価は、次の4点を踏まえて行っております。

- 1 教育活動内容の達成状況に対する保護者の皆様による評価です。
- 2 開かれた学校づくりのため、また、学校の説明責任を果たす方法として法律で規定されています。
- 3 皆様のご意見を今後の学校経営の改善資料として活用します。
- 4 記名をして頂いているのは、客観的な評価をしていただくためです。

回答については、以下のグラフにまとめました。詳細の説明は、2月27日の全体懇談会で行います。



児童・保護者アンケートでは、「十分達成されている (A)」「ほぼ達成されている (B)」を合わせると、ほとんどの項目で80%を超えています。子どもたちは、特に「学力」に手ごたえを感じているようです。また、「いじめは絶対にしてはいけない」という人権に対する意識もほとんどの児童に育っています。

保護者アンケートの自由記述では、学校への感謝の言葉を多くいただいております。課題は「友達関係の悩み」「いじめの早期発見」などでした。ひとつひとつ丁寧に対応し、保護者の皆様のご期待に応えられるよう最大限努めてまいります。

CS委員の皆様にもご回答をいただいております。子どもの様子については、「落ち着いていて、素直な子になっている」「行事等でも常にきまりを守り、将来の姿が楽しみです」等、肯定的なご意見が数多くありました。登下校の様子では、「登下校時に元気に挨拶ができる子が多く、町外の方からは驚かれています」とある一方、「下校中、道路に左右を確かめずに飛び出してきた子を見かけました。車が来ていたらひかれていたかもとヒヤヒヤしました」「車での送り迎えが増えてきますが、登下校時だけでも車の玄関前までの乗り入れは遠慮してもらった方がよいと思います」との安全面に対するご指摘もありました。命に関わることですので、ご家庭との協力も図りながら、交通安全の意識を高めていきます。

今回の結果を参考にして平成31年度の学校経営方針を立案します。来年度は、今年度よりも教育の質を更に向上させ、より高い評価をいただけるように努力いたします。ご協力ありがとうございました。

## ★★★冬休みの作品★★★

冬休み中に作成された作品が、各学年の学習室に展示されました。どの作品も一生懸命に作成した感がありました。

家族と一緒に取り組んだ子、これまでの様々な経験を生かして取り組んだ子、友達の喜ぶ顔を思い浮かべて作った子など、その子らしい工夫やがんばりが伝わってきます。どの作品もとても素晴らしいです。



## ★★★スケート学習★★★

3学期がスタートし、スケート学習がよいよ始まりました。2月5日(火)に行われるスケート記録会に向け、子どもたちは、元気にスケートに励んでいます。

22日(火)に行われた第1回目の学習では、晴天無風という最高のコンディションの中、それぞれの目標にあったグループで練習しました。冬休み中リンクに通った子ども達は、その成果を発揮しようと一生懸命に取り組んでいました。

24日(木)に行われた第2回目の学習は、前日の暴風雪警報が解除され、ほとんど風を感じさせないコンディションで行われました。それぞれの学年ブロックで、タイムを取るなどして、記録会に向けた練習が行われました。



## ★★★2年生 さけ学習★★★

21日(月)、サーモン科学館館長の内村氏に來校いただき、2年生がサケ学習を行いました。

今回の学習は、昨年11月に6年生がサーモン科学館で人工授精させた受精卵を観察する学習です。水温10度の左の水槽にある受精卵は今週から来週にかけて孵化し水温5度の右の水槽にある受精卵はそれよりも後に孵化することです。餌をとり始めるのは、2ヶ月後。

今回学校の水槽に入った受精卵は、稚魚になった今年の5月に今の2年生が3年生になってから、サーモン科学館の近くにある川に放流することになります。



## ★★★しべつっ子 家庭教育 10ヶ条より★★★

### 第8条

**進んでお手伝い 支え合い 協力し合える  
優しい心 責任感を育てます**

家族の一員として手伝いを奨励し、協働する喜び、優しい気持ちや自主性、責任感を身につけさせましょう。